

松本市議会議員

吉村幸代

の活動レポート

第6号(下半期特大号)

よし むら さち よ

発行 吉村幸代後援会

〒399-0025 長野県松本市寿台9丁目4-1

Tel & Fax 0263 (58) 0201

E-mail sachiyo_kun@ybb.ne.jp

URL <http://yoshimurajimusyo.web.fc2.com>



2016年5月発行



初当選から1年!

すべての定例議会で

登壇しました。



や、「こうであって欲しい」と思い
続けてきた要望、各種審議会の委
員として自身が取り組み続けてき
た問題を質問しました。

市議会は「社会の縮図」といわ
れますが、私には首を傾げること
や面食らうことの多い、何とも不
思議な世界です。こんな事態がま
かり通って良いのだらうかと、憤
りを感じることも多々あります。
しかしながら、様子が全く分から
ないので、初年度は周囲を見なが
ら助走を続けてきました。

いよいよ本格起動の時を迎えて
います。皆様方のお気持ちを代弁
するために、「意見や要望をお
寄せください。

初当選から丸1年。皆様方のあ
たたい応援に支えられて、四季
を駆け抜けてまいりました。無我
夢中の日々でした。日頃のご協力
に、改めて感謝申し上げます。
議員1年生の初年度は、昨春5
月1日(金)に始まりました。質
問のデビューは、改選後初の6月
定例会。以降の議会すべてに登壇
して質問するのを目指して、務
めてまいりました。お陰様で願
叶い、目標が達成できた上に、確
かな手応えも感じています。
1年の間の質問項目を裏面に
まとめましたので、ご覧いただき
たいと思います。それぞれの問題
意識も、原点は「生活者の視点」と
しつつ私の基本姿勢です。「これま
で一市民として」不思議だな。何
故だろう」と抱き続けてきた疑問

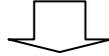


▲平成28年2月定例会 被害拡大に不安を訴えるお声を受けて、松くい虫被害対策について質問・要望しました。

6月定例会 平成27年6月23日(火) = 男女共同参画週間の初日

1. 地域社会における男女共同参画の推進

- (1) 男女共同参画の必要性についての認識
- (2) 男女共同参画の取り組み状況
- (3) 地域づくりにおける男女共同参画の取り組み状況
- (4) 防災における男女共同参画の取り組み状況



各地区に男女共同参画推進員をおくことになり、予算が組まれました。松本市防災会議の女性委員が、1名から2名に増えました。

9月定例会 平成27年9月15日(火)

1. 公営住宅のあり方と地域づくり

- (1) 市営住宅の建設・運営方針について
- (2) 寿台地区の市営住宅および県営住宅に関して
- (3) 公営住宅町会の現状と地域づくりについて



県営住宅「寿団地」「二子団地」の集約化に向けた検討と説明会、老朽化が進む市営住宅の解体計画と移住に関する説明会が始まりました。

平成27年度の質問項目 in 定例会

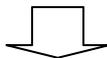
12月定例会 平成27年12月7日(月)

1. 社会教育と地域づくりについて

- (1) 社会教育の取り組みの方向性
- (2) 地区公民館のあり方
- (3) 地域づくり実行計画推進における地区公民館長の役割

2. 文化振興策について

- (1) 市長の政治姿勢
- (2) まつもと市民芸術館の運営と今後の方針
- (3) 文化の力による人材育成と地域おこし



松本市の公民館は発足70年。菅谷市長も「地域づくりの要」と強調。

2月定例会 平成28年2月24日(水)

1. 日本語の乱れについて

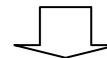
- (1) 現状と認識
- (2) 今後の対応

2. 松くい虫被害対策について

- (1) 被害状況と今後の対応
- (2) 短期的目標の設定
- (3) 長期的目標の設定

3. 市民生活総合相談窓口について

- (1) 利用状況と現状分析
- (2) 今後の取り組み



赤羽教育長が教育委員会や校長会で報告、話題に。

松本市役所の言葉遣い気になる？

市会一般質問で「丁寧過ぎる」指摘も

24日の松本市議会2月定例会一般質問で、「日本語の乱れ」が議論になった。冗長だったり、丁寧過ぎたりする言葉遣いが「市役所でも市民権を得ている感がある」と吉村幸代氏（みんなの未来）が辛口の指摘。答弁した坪田明男副市長は、職員が使う「させていただきます」といった過剰に丁寧な言い方や無駄な表現が「大変気になる」と同意し、「話し言葉、書き言葉を大切にしよう、職員と研さんを重ねたい」と述べた。

吉村氏は、いわゆる「ら抜き言葉」や「資料の方(ほう)をご覧ください」

といった不要な言葉を使う表現に違和感があると主張。市の広報誌「広報まつもと」にも気になる記述があったとし、「役所や教育現場は、正しく美しい日本語を使う意識が求められる社会集団だ」と苦言を呈した。

赤羽郁夫教育長も答弁し、「小学校教員時代に保護者から、『先生が担任になり、わが子の言葉遣いが悪くなった』と指摘された」と苦い思い出を紹介。「子どもや若者に与える影響の大きさを大人が自覚し、正しく美しい日本語の良さを感じられる生活を心掛けたい」と述べた。



アルプちゃん防災バージョン

2月定例会の「日本語の乱れについて」という質問は、最終日の議場を笑いに包みました。「確かに大切な問題」「意表をついた質問」「コラムニストならではの視点」などと、大変な反響です。

翌日の信濃毎日新聞でも、大きく取り上げられました。

そんなに辛口だったかなあ。

市議員 ちやぶ台も勉強机 「言論の府」だからね

市議会定例会が閉会する一、年に数回、市長・副市長・各部長ら理事者と議員との「意見交換会」が開催される。端的に「言」は懇親会本音を語り合ひの酒宴の場である。

時は、昨年末の意見交換会。同じテーブルを囲む部長同士の話が、聞くとほなしに耳に入ってきた。厚間の疲れもあって、軽い酔いに身を任せていた私の心を、その一言は閃光のように貫いた。「議会は『言論の府』だからね」。

翌朝、目覚めると同時に、私は印象的な会話を思い出し、意味を考え続けた。「『言論の府』。彼らは一体どのような状況を踏まえて、あの会話に至ったのだろうか」。

議員と、想定し得なかった人生を歩み始めている私。当選できて良かったと思ひ口々が続く一方で、「何なのか」と落ち込む口もある。そんな口には、「選挙になんて出さず、晴耕雨読で『コラム』を書いていた方が、自分らしい生き方だったのかも」と決まってしまう。

最後まで私に立候補を迷わせた理由が、一つだけあった。立候補表明する一、13年間連載してきた市民タイムスの「コラム」食卓が勉強机が打ち切られる。「特定の候補者や議員の応援となるゆえ、掲載せず」が同紙の方針という。

市議選担当のN記者が、「コラムは終わっても、議会という新しい場所で見解を発表できるじゃないですか」と慰めてくれた。

議会は「言論の府」。言論とは、言語や文章によって思想を発表し

て論ずること。人は言葉でものを考え、言葉でそれを伝える。一言一句にこだわり、文章を紡いで暮らしてきた私の生き様が、今こそ役立つに違いない。言葉を大切に、言葉の力を信じて、議員として一層の研究を積んでいかねばならない。私は気を引き締めた。

数日後の市民タイムスに、「一般質問」と題したN記者の文章が載った。「おばさん議員はきちんと発言し続けていくよ。コラムの分までね」と、思わず呟いていた。

一般質問

地方議会の一般質問は、議員の大きな見せ場だ。行政全般にわたる課題にどんな切り口で、どう理論立てをして政策論議に導くのか。首長側も周到な準備をして答弁するだけに、その質問の重みや

迫力は、本会議を傍聴する醍醐味の一つだ。それが時として感じられないことがある。ある若手議員の一般質問一答形式での発言だ。「まず〇〇について現状を伺います」と切り出す。首長側の丁寧な答弁が終わると「では市民の間に

どんな意見があるのか。続く答弁の後に「△△を提案します」。

「と主張を言っただけで、こんな質問が短く淡泊で、議論が深まらず、行政運営のチェック機能が働かない。中には持論の展開に偏り過ぎたり、首長に賛辞を送ったりする議員もいる。選挙権年齢が来年6月以降、18歳以上に引き下げられる。若者の政治参加の意識を高めるためにも、生活に一番身近な議会で、緊張感と見応えのある政策論議を見せることが効果的だ。それが何よりの政治教育になると思う。」



平成 27年 12月 21日 (月) 付 市民タイムス

市議会の傍聴にお越しく下さい。
後援会ご入会もお願ひします。

編集後記

明治の演歌師・添田唾蟬坊を久々に聴いた。♪ああわからないわからない 賢い人がなんぼでもある世の中に 馬鹿者が議員になるのかわからない 議員はいつもぼんやり椅子の番……百年前の庶民も、こんな唄を口ずさんでいた。

▼「政治とは、究極的には税金の分配だ」と言った人がいる。昨今、議会では提案型の質問が流行しているらしいが、どんな提案も、予算の用途を伴わなければ、単なる「絵に描いた餅」に過ぎない。街中スタジアムなんていう、新たな餅もちらつく今日この頃である。

▼かの「まつもと市民芸術館」の管理運営費は、現在7年間約5億円、一口あたりにして約137万円。一方で、市の国保税はカフツポ状態と聞く。税收減少が必至の今、何を優先すべきか、その取捨選択は大切だ。▼さて、この人は寿台公民館長時代から常に全力投球、あまりに手を抜かない姿にはいささか心配も覚えるが、椅子の番をしている暇はなし。議員2年目の慕があがる。(結城マユ)



▲4/28(火) 当選証書付与式



▲5/24(日) 才教学園体育祭



▲6/14(日) 長野県主催「地域の防災・減災を考える」シンポジウム 阿部知事(左端)らと登壇

▼7/29(水)~31(金) 総務委員会
行政視察 in 平塚・館山・木更津市



▲7/25(土) 棚峯町会夏祭り



▼8/2(日) 第42回寿台夏祭り
寿台太鼓連メンバーとして演奏も

吉村写真館 2015 春~2016 冬



▲9/6(日) 松本市総合防災訓練
in 明善小学校



▲9/21(月・祝) 内田地区敬老会



▲10/4(日) 美ヶ原高原ささ刈り



▲10/20(火)~22(木) 会派「みんなの未来」行政視察 in 佐渡市・富山市



▼1/10(日) 棚峯町会新年会



▲1/4(月) 内田地区新年祝賀会

1/31(日) 吉村幸代後援会総会

